

マンガ表現とは？

人文

メディア
表現

芸術

デザイン

マンガ

マンガ表現はマンガ学部の志願者を対象にした実技試験です。

与えられた題材から自由に発想し、マンガ表現する試験です。

外国人留学生入試1期ではマンガ表現と日本語作文の2科目を受験する必要があります。

● 出題内容

対象入試種別	試験内容	時間	配点
学校推薦型選抜(公募制)	マンガ表現 与えられた5個の題材から2つを自由に選び、2つの題材を組み合わせ発想したイメージを条件に従い画用紙に表現する。 また、原稿用紙に制作の目的や背景、考え方などを説明する(200字以内)。 支給物 画用紙(B4)、下描き用紙(A4)、原稿用紙 制作条件 出題内容によっては制作条件が指示される。	180分 午前開催	200点
外国人留学生入試1期	マンガ表現 上記と同じ	180分 午前開催	150点
	日本語作文 与えられた課題について、自分の考えを300字程度の日本語で記述する。	20分	50点

● 評価のポイント

マンガ表現

与えられた題材を効果的に活用する発想力、伝えたい内容をわかりやすく表現する伝達力、一枚の画面に整理してまとめる構成力を評価します。画面内に文字や文章を使用することは可能ですが、それらも表現要素の一部として考慮してください。制作意図を示す文章も重要な表現要素の一つです。これらを総合的に判断し、作品の完成度を評価します。

日本語作文

日本語として適切な表現で、論理的にわかりやすい文章が書けるかを評価します。

● 試験に持参できる用具

- ☐ 黒芯の鉛筆またはシャープペンシル
- ☐ 鉛筆削り(電動式、大型、ハンドル付きは不可)
- ☐ 消しゴム(練り消しゴム含む)
- ☐ カッターナイフ(鉛筆を削る用途以外は不可)
- ☐ 画板・カルトン(大きさ、種類は問いません)
- ☐ クリップ(クリップ代わりのマスキングテープ、画鋏などの使用は不可)
- ☐ 水溶性絵具(アクリルガッシュ、ガッシュ、ポスターカラーなど)
- ☐ 色鉛筆、ボールペン、サインペン、マーカー(筆状のペンなど種類は問いません)
- ☐ 筆、筆洗、筆ふき、パレット
- ☐ 定規(直定規および三角定規)

● アドバイス

さまざまなスタイルで表現できる試験ですが、スタイルによって有利不利はありません。自身が練習してきた得意な表現技法で臨んでください。できるだけ多くの具体物(人や動物、物、風景など)を描写できる力があると、伝えたいことをより明確に表現できます。また、抽象的なイメージ(光、時間、風など)を視覚化する工夫にも挑戦してみてください。登場するキャラクターの感情表現やストーリー性のある構成、世界観の構築など、作品ごとに目指す方向性は異なります。複雑な感情表現や壮大なストーリーであっても、相手に伝わらなければ意味がありません。試験時間は限られているため、伝えたいことを整理し、自身の作品の方向性をしっかりと見定めて取り組みましょう。

参考作品



● 出題例・参考作品

● 題材（例）

光、瞬間、果物、
スポーツ、小学生

（選んだ2つの題材を、原稿用紙に記載する。）

● 制作条件

- ・ 画用紙は、縦位置／横位置のいずれに使用してもよい。
- ・ 下描きは支給された用紙を使用すること。
- ・ 画面は、1枚絵として表現しても、画面を分割（コマ割り）して表現してもよい。
- ・ カラーで表現してもモノトーン（白黒）でもよい。
- ・ 画面内にセリフや吹き出し、効果音を記載して表現してもよい。

● 参考作品



選んだ題材 「瞬間」「小学生」

大人になるにつれ、少年少女だった自分の姿を忘れるのはよくあることです。しかしふしぎなことに、少女の頃の大事なともだちに会って、いつのまにか少女の頃にもどっている。すくなくとも、みんな一度はけいけんしたことあるはず。一緒におまごをやって、アイス分け合って、かえり道いつも手をつないだ、大好きな女の子に会った瞬間、自分はいつのまにか大人の自分はいなくなり、小学生の自分に戻る瞬間を描きました。

教員コメント 時系列のコマ構成ではなく、印象を捉える少女マンガ的な表現として魅力的。題材の扱いも無理がなく、素直に魅力が伝わる。



選んだ題材 「瞬間」「小学生」

まず題材を見て思いついたのが光になってしまった小学生。しかしその場合バッドエンドになってしまうと考え瞬間と小学生にした。とにかく男の子が描きたかった。そしてそこから読み切りに持っていける可能性の残した作品にしようと考え、瞬間移動装置を使ったらなぜか大人が小学生になってしまった、という漫画が出来上がった。登場人物が小学生になってしまってもわかりやすいキャラデザを意識した所がポイントだ。

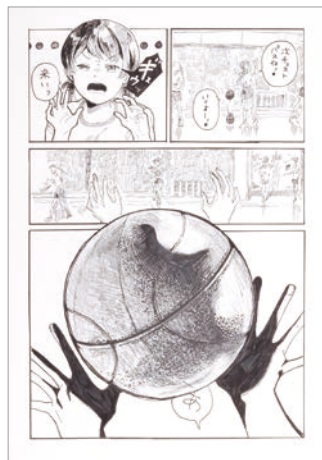
教員コメント マンガの1ページ目として見るとフックが効いており明快。題材から発想し、ページをめくりたくなる構成が見事。



選んだ題材 「小学生」「光」

題材選択について、普段人物の作画をすることが多いため、「小学生」を選び、絵の具を用いて「光」を表現することに挑んだ。小学生らが元気に遊ぶ光景の温かさと、広葉樹をとおしてふりそそぐ陽の光の温かさがマッチする画面構成と着彩を目指した。空間を演出したかったため、縦構図をとり、俯瞰での画面構成にした。

教員コメント シンプルなイメージの展開だが、表現の魅力で空気感が伝わる。



選んだ題材 「スポーツ」「小学生」

小学四年生だった頃の私は視力が悪かったにもかかわらず、そのことに気付かないで過ごしていた。バスケット部に所属しており、遠くでポヤッとした人影から突然ボールが飛び出してくる光景を覚えている。後日眼科で測ったところ両目で0.08しかなく、いそいで眼鏡をかけさせられたが、あの頃の不自由な視界でのバスケットボールも自分の中ではスリリングな思い出になっているので、それをマンガで表現しました。

教員コメント 解説がないとやや分かりにくいですが、些細な記憶を丁寧に拾い、物語がじわじわと広がる味わい深い作品。



選んだ題材 「果物」「小学生」

「小学生」から「未熟」という言葉を連想した。そこから、まだ未熟な小学生の女の子が熟れた赤いりんごに手を伸ばしているという構図にした。女の子の足元には青りんごが転がっていて、小学生という未熟な状態を暗喩している。

教員コメント 素直にイメージが伝わる作品。果物と小学生から「未熟」に展開する発想が面白い。



選んだ題材 「瞬間」「小学生」

以前よりきびしくなった世界のせいで、年末年始のような時に家族や大切な人と過ごすよりも、個人的な時間を選ぶ人が増えている。そして、きれいな思い出も次第に消えていき、最後は縁までも失われてしまうかもしれない。私は自分が思う一番好きな思い出を描いて、他の人々の瞬間について考えながら、久しぶりに大切な人に連絡をしたい。

教員コメント 素朴な画風が魅力的で、一枚絵でも暖かな物語が見えてくる。